

# 「内視鏡検査 = つらい」という方は、 鎮静下での検査も可能です。

## つらさを軽くして検査を受けることもできます。



内視鏡を用いた検査では、カメラが喉の奥へ通過する際に強いえずきや嘔気を感じることや、胃の中を空気で膨らませるためにお腹に痛みが伴うことがあります。このような内視鏡検査の辛さを軽減するために、当院では鎮静剤を使用し、痛みや辛さを軽くして検査を受けることも可能です。

なお、鎮静剤を使用する場合は、当日車やバイク、自転車の運転ができませんので、お気を付けください。

## 鎮静剤の安全性を検証し、学会発表を行ないました。

鎮静剤を使用することに不安を感じる方もいると思います。

当院では、上部消化管内視鏡検査終了から20分間は経過観察室のベッドで安静に過ごし、20分後に血圧やふらつきなどの覚醒（目覚め）状況を看護師が確認した上で、帰宅していただいています。現在まで転倒などの事故は1件も発生しておらず、また鎮静剤を使用した方の97%が20分後に覚醒し、帰宅されています。残りの3%の方は、20分後に眠気やふらつきが残っていたため安静時間を延長し、帰宅されています。\*

こちらの検証結果は、第85回消化器内視鏡技師学会（2020年10月開催）において、「上部消化管内視鏡検査における鎮静剤使用者の回復時間と安全性について」と題して、当院看護師が発表しました。

※2019年5月1日～2019年8月31日に実施した鎮静剤を使用した内視鏡検査690件による



## 鎮静剤使用後の患者さんの評価を調査しています。



現在は、次回検査を受ける際に、より苦痛を少なくできるよう、検査終了後に苦痛の有無や程度を質問しています。調査へのご協力をお願いします。

